

2023 年度

事業計画書

2023 年 3 月

公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

2023 年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行ないます。

(1)文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的:2013年9月に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、故ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学の素晴らしさを再発見する場を提供します。

*ドナルド・キーン先生は、2019年2月24日(日)に逝去されました。当センターでは、今後もキーン先生が取り組み続けて来られた平和への思いや日本文学、日本文化の素晴らしさを展示や講演会等を通して伝え続けていきます。2020年度に、2013年当センター開館以後のキーン先生の歩みや活動について知りたい、または日本文学研究の原点を見つめた特別企画展を常設展示化してほしい、などの声に応え、英文による展示概説と英語・日本語による音声ガイドを新たに加えて、リニューアルオープンしましたが、COVID-19 の関係にて2020年度は6月10日(水)に開館を延期となり、2021年度も9月に約2週間臨時休館となりました。2022年度においては、ドナルド・キーン生誕100年特別企画展「写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ 思い出の一枚、私の一言」を開催するとともに、COVID-19 他制約継続の中できる範囲での普及活動を実施してきました。センター開館10周年に当たる本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りとしております。

【ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営】

目的:キーン先生の歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらおうと同時に、日本文学・日本文化の面白さ・素晴らしさを発見・認識していただきます。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書斎を復元・展示して、90歳で日本人となり、日本人として2019年2月に逝去されたキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場としております。

開館期間 4月1日～12月24日

休館日 毎週月曜・火曜 冬季休館期間 12月25日から3月31日

年間開館日数:192日 来館者計画:1,500人

財団設立・センター開館10周年を迎え各種施策・記念事業を実施するものの、COVID-19の今後の状況や支援の有無等予測できないこともあり、来館者計画については2022年度計画と同様とし、若干低いものとしております。

(2022年4月1日～2023年2月28日実績(1,386人)対比 108.3%)

(2021年4月1日～2022年3月31日実績(1,914人)対比 78.4%)

(2020年6月10日～2021年3月31日実績(1,041人)対比 144.1%)

(2019年4月1日～2020年3月31日実績(3,097人)対比 48.4%)

(2018年4月1日～2019年3月31日実績(1,755人)対比 85.5%)

事業収入目標額 600,000円 (1,500人×400円=600,000円)

なお、2024年度は常設展展示関係では、2023年4月から実施している特別企画展「未来への伝言 高橋義樹、ドナルド・キーンの太平洋戦争」を常設展示化し、更に2階収蔵庫を縮小し、そこに新たな企画展示室を設営し、2023年度特別企画展内容の拡大化等を予定し、3階には収蔵室の新設を計画していますが、その準備・設営等については、2023年度(2024年)の1～3月の冬季休館時及び2023年度の月・火の休館日に行なうものとしております。

●2023年度計画

【キーン先生の日本文化・日本文学研究の「志」を広く市民の心に宿し、実践につなげる活動を行なう】

- ①キーン先生や展示内容に関連するイベント(講演会、公演会、ギャラリートーク等)の開催
- ②キーン先生の研究テーマに関する連続講座の開催
- ③センター所蔵のSPレコードやLPレコードの鑑賞会や映像資料鑑賞会の定期開催

【企画展の計画】

目的:常設展示だけでは伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とします。

2023年度は、ドナルド・キーン・センター柏崎 開館10周年記念特別企画展として「未来への伝言 高橋義樹、ドナルド・キーンの太平洋戦争」を開館期間内通して開催し、この機会にドナルド・キーン先生の日本文学研究の1つの原点である太平洋戦争を見つめなおすと同時に、ハワイ日本兵捕虜収容所で出会ったドナルド・キーンと高橋義樹(筆名 堀川潭)の二人の人生に秘められたエピソードを通して、戦争と人間を見つめていく計画としております。

【出張展示企画展(巡回展)】

他の記念館・図書館・官公庁や企業・学校等の施設にてドナルド・キーン・センター柏崎の所蔵品や過去の特別企画展にて製作した展示パネル等を一定期間貸与し、展示していただくことで、当センターの知名度向上とドナルド・キーン先生が世界に発信し続ける日本文化、日本文学への造詣を深めていただくことを目的に開催していきます。

前年度は、キーン先生生誕百年にて神奈川近代文学館で5月28日～7月24日に開催された「生誕100年 ドナルド・キーン展 -日本文化へのひとすじの道-」に対し協力他を財団・センターとして行ない、パネル・資料を貸し出した他、例年同様東京都北区中央図書館「ドナルド・キーンと平和展」へパネルを貸し出しております。本年度は柏崎刈羽中学校校長会の協力をいただき、該当中学校(13校)にてキーン先生のエピソード等を紹介するパネル展示を計画しております。また COVID-19 禍他にて状況は見えにくいものの出張展示企画展についても働きかけを強めて進めていきたいと考えています。更に前年度実施したセンターHP のリニューアルもあり、展示パネル等の貸出にも今まで以上に積極的に取り組んでいきます。

【センター主催:講(公)演会・定期セミナー等計画】

目的:常設展示や企画展の展示内容の深掘りやドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や伝統文化、造詣が深いオペラ等に関する講(公)演会セミナーを定期的開催し、市民の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の永続性を高めていきます。

2021年度・2022年度については、COVID-19 対策を図りながら、規模縮小・遠方地からの講師招聘を取りやめ等した形にて、開催できるものは開催してきました。2023年度においては財団設立・センター開館10周年の節目にあたることから、規模の大きなもの・センター以外の会場での実施も含め積極的に開催していく計画としております。

●2023年度計画

①10周年記念式典・講(公)演会

財団設立・センター開館10周年の記念式典を開催し、併せて記念講演・公演会を実施。

日 時:9月23日(土祝)

会 場:柏崎産業文化会館文化ホール

内 容:(1)財団設立・センター開館10周年記念式典

- ・吉田理事長挨拶
- ・祝辞:柏崎市長、柏崎教育委員会教育長、キーン誠己氏
- ・財団設立・センター開館10周年記念特別表彰
- ・財団設立・センター開館10周年記念誌完成報告

(2)記念特別講演

- ・講師:平野啓一郎氏(小説家)
- ・講演内容:「ドナルド・キーンさんの思い出」

(3)記念英語歌舞伎「弘知法印御伝記」上演

- ・演者:ローレンス・コミンズ教授他 語り:キーン誠己氏 解説:田中寿美さん

入場料・鑑賞料:有料(1,000円を予定)

②公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式・記念鼎談会

褒賞事業「公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」の審査結果発表・表彰式を開催し、併せて記念鼎談会を実施。

日 時:10月22日(日)

会 場:柏崎市民プラザ波のホール

内 容:(1)公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式

- ・吉田理事長挨拶
- ・審査委員紹介・審査講評
- ・表彰
- ・受賞者代表挨拶

(2)記念鼎談会

- ・講師:キーン誠己氏、ジャニーン・バイチマンさん、角地幸男氏
- ・鼎談議題:「ドナルド・キーンが遺したもの 未来への伝言」

入場料・鑑賞料:検討中

③講(公)演会・ギャラリートーク

キーン先生に関連した講師をお招きして開催。

会 場:ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設(ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール・(株)ブルボン研修センター3階多目的ホール等)を使用。定員:30~50名前後

受講料:1,000円~(猿八座へ全額寄付)

6月 4日 人形浄瑠璃猿八座公演「信田妻」

11月5日 人形浄瑠璃猿八座公演「弘知法印御伝記」初段~3段目

[ギャラリートーク他]

4月 1日 2023年度特別企画展ギャラリートーク(中津副館長)

4月 2日 2023年度特別企画展ギャラリートーク(中津副館長)

④連続講座・講演会

展示内容の深掘りや、ドナルド・キーン先生が永年にわたり研究されてきた日本文学や、造詣が深いオペラ等に関するセミナーを定期的開催していきます。会場はドナルド・キーン・センター柏崎関連施設(ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール・株ブルボン研修センター3階多目的ホール等)を使用。定員:30~50名前後

[連続講演会]

7月30日 「ドナルド・キーンが遺したもの」最終回

講 師:中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

受講料:無料(ただし入館料は必要)

[大型映像で映像ライブラリーを観る会]

2021年より新たなイベントとして実施しております、これまでの講演やイベント活動を記録し当センターで映像ライブラリーとして2020年度に整理・再編集の上保管・活用しているものを、大型映像ホールで上映・鑑賞する会を2023年度も継続して定期的開催する計画としています。

4月から12月まで、毎月1回開催 時間等は13時30分~を予定

受講料:無料(ただし入館料必要) 会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

⑤「クレデンザを愉しむ会」(ボランティア主催)

柏崎市内のSPレコード愛好家のご協力を得て、キーン先生が愛したオペラやクラシックの名曲を中心に、蓄音機「クレデンザ」を使用して懐かしくも新鮮な音を楽しむ会としてボランティア主催にて開催。

ロビーにて開催のため、参加料は無料。

4月から12月まで、毎月1回開催 13時30分~14時30分

会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎1階ロビー

【教育普及活動】

① センター所有のパネル・バナー等の貸出

前年からの取組み(実績は残念ながらなし)として、過去センターで実施した企画展パネル・バナーをリニューアルしたセンターHP を使って希望者・団体・施設等に貸し出します。壁に掛けられる形態のため手軽にパネル展が開催できます。学芸員が施設等を訪問し、レクチャーや講演会を実施することも可能としています。

② 柏崎刈羽地区中学校連携事業としての「ドナルド・キーンを知るミニパネル展」の実施

新たな取り組みとして、明日の柏崎・日本を担う世代にドナルド・キーンの心を伝えるとともに、地元中学生の来館促進を期待して、「ドナルド・キーンってどんな人~太平洋戦争で出会った日本人」等のパネルを市内全中学校(校長会)の協力を得て、校内にパネル展示を依頼します。各回3.4枚程度のパネルを約1か月間掲出、年内に3回程度にわたって実施し、ドナルド・キーンの日本との関わりの原点ともいえる太平洋戦争に焦点を当て、中学生に向けて平和主義者であるドナルド・キーンの人となりとともに、戦争と人間・平和の尊さを考える素材を提供します。

③ 柏崎刈羽地区中学校連携事業としての先生向勉強会への講師の派遣

新たな取り組みとして、明日の柏崎・日本を担う世代にドナルド・キーンの心を伝えるとともに、地元中学生の来館促進を期待して、その前段階として先生方にドナルド・キーンに対する理解を得てもらうため、先方が主催する勉強会にドナルド・キーンに関連する講師を派遣し講話をしていただきます。6月平日にキーン先生の教え子であるJ・バイチマンさんをお願いし、キーン先生は教師としてどのような先生であったか等についてお話しいただく機会を設けます。

④ 柏崎高校探求授業等への協力

2019年度実施の探究授業や2020年度実施の柏崎高校キャリア教育「職業人講演会」講師派遣への協力実施を本年度も進めたいと考えます。柏崎高校だけでなく、他の学校にも紹介して拡げていきます。

【研究活動計画】

- ① 展示資料及び収蔵資料のデータ化の完成とHP上での情報公開を進めていきます。
- ② 展示資料及び収蔵資料についてのキーン先生とのつながり(縁)の調査を進めます。
- ③ キーン先生の過去の講演録及び映像の一覧化を進めていきます。
- ④ 財団報・10周年記念誌の作成～発刊(2023年7～9月を予定)

※外部の方と編集・制作業務委託契約を締結し、現在進行中

【PR活動計画】

- ① 柏崎市内の商店及び事業者への企画展ポスター、チラシの配布と掲示活動
柏崎市内での周知向上を図る目的で、ボランティアの皆様の協力を得て実施
- ② 新潟県人会・旅行会社・賛助会員(法人・個人)等に向けて、パンフレット等を発送
- ③ 柏崎市の観光タクシー「ちょっ得タクシー」への協力⇒本年度は実施せず(柏崎観光協会)
- ④ 柏崎コミュニティ放送「柏崎発! ドナルド・キーンの世界」の継続により、地元でのセンターの周知とキーン先生の理解度を深めます
- ⑤ ㈱ブルボン及び同社取引先への再告知・来館誘導推進
- ⑥ 広告掲載(投入)
 - ・ラジオ広告 2019～2022年度はほぼ実施していませんでしたが実施に向けて再検討
 - ・県内テレビ局タイアップ企画 実施に向けて検討
 - ・新聞広告 新潟日報 2023年4月、8月、10月、12月 2024年3月
柏崎日報 2023年4月、8月、10月、12月 2024年3月
読売・朝日新聞について、県内広告代理店枠を利用した掲載を随時継続
※柏新時報は2022年3月をもって発刊が終了しました
 - ・東京新潟県人会会報(月1回発行・1,400部)への特別企画展パンフレット同封
 - ・その他、観光・旅行雑誌等への掲載を随時検討するとともに、web等含め新たな媒体掲出を積極的に検討・実施していきます。期初はCOVID-19の状況もあり、基本的に近郊・新潟県内に向けての発信を中心として実施していきます

【地域連携への強化活動】

目的:ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様にご有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献します。

●2023年度計画

- ①「猿八座」及び朗読会グループ「かしわざき朗読サークルたろうの会」等の公演開催の協力
- ②柏崎市内で開催される「文化事業」等への「後援」又は「協力」の名義貸し

【ボランティア組織の活動への協力】

ドナルド・キーン・センター柏崎の日々の運営に協力いただいているボランティア組織のイベント活動への協力及びボランティアの方々の協力を得ることで当センターの周知と集客につなげます。

(主な協力内容)

場所の提供、HP等での告知、イベント参加者の展示見学希望者への団体割引適用
(計画されているイベント等)

ロビー展の開催(6月下田歌子研究所主催含め年8回程度計画)

読書会の開催(年5回程度計画)、お茶会の開催

(協力依頼内容)

展示案内、ポスター配布等イベント広報活動(FMピッカラ「ドナルド・キーンの世界」への協力含め)、各種イベントの計画実行、センター主催イベントの協力他

【褒賞事業への取り組み】

ドナルド・キーン先生の研究の功績の顕彰だけでなく、次世代の育成や日本文学の研究・地域貢献を目的とした「褒賞」事業を推進します。

2022年度に事業内容が決定し、公表及び作品募集を開始した「公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」を遂行していきます。

●2023年度計画

① 作品募集:2月1日～5月15日(市内中学校分5月31日まで応募受付)

② 1次審査:6月上旬～6月下旬

③ 2次審査:7月下旬～8月上旬

審査員:宮田亮平氏・北嶋藤郷氏・工藤美代子氏・南加乃子氏・大倉政洋氏

④ 審査結果発表:8月下旬

※発表前に書面決議等による理事会の承認を得るものとします

⑤ 表彰式:10月22日(予定)

(2)学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的:奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与していきます。

●2023年度計画

①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に本人預金口座に振込みます。

下記学年は新学年(5年生は薬学部、※1は海外大学の大学院へ進学するため4月から6月については貸与を休止し、7月より貸与を再開する1名を除く、※2は2022年4月に復学により貸与を再開した1名、※3は2023年4月より留学により休学するため貸与を休止した1名を除く)

対象者	人員(3月末現在)	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学院生	2年次 (1名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	360,000 円
	1年次 (0名)※1	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	0 円
大学生	6年生 (1名)※2	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	360,000 円
	5年生 (1名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	360,000 円
	4年生 (16名)※3	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	5,760,000 円
	3年生 (23名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	8,280,000 円
	2年生 (26名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	9,360,000 円
	1年生 (27名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	9,720,000 円
	合計 95名		34,200,000 円

②奨学金の返還

- ・2023年3月卒業生及び中途辞退者を対象に、奨学金借用証書及び返還予定書を提出指示
- ・2022年3月卒業生及び猶予期間終了者を対象に、奨学金の返還指示及び諸通信の連絡
- ・2023年度返還額予定額(返還予定書より算出) 22,389,330 円(2023年3月31日現在)

③第48回(2024年4月進学)奨学生募集活動計画

- ・募集人員:大学生25名
- ・募集要項の発送 9月下旬
- ・対象校:高等学校833校 新潟県141校 山形県77校 長野県129校 福島県118校
青森県79校 秋田県72校 岩手県95校 宮城県122校
- ・募集締切:2023年12月下旬
- ・第一次選考委員会:2024年1月下旬
- ・第一次選考委員会にて定員未達の場合は、二次募集を行う(締切は2月29日)
- ・1月下旬に選考結果を通知し、第一次合格者及び補欠候補者からの繰上げ合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定します

④奨学金管理システムの構築

個人情報保護・管理強化を主目的として、既存(外部)のシステム選定・導入を前提としての奨学金管理システムの構築を進めていきます。

(3)文化芸術・スポーツ等に関する振興活動

目的:教育及び文化・芸術・スポーツ等への振興に関する助成・協賛を行い、広く教養の向上及び心身の健全な発展に寄与していきます。

① 文化芸術・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的:文化芸術・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献していきます。

●2023年度計画

本年度においても、例年通り実施します。

- ・予算 文化芸術振興助成事業 200千円 スポーツ振興助成事業 200千円
- ・対象 各事業とも応募状況が多くなっていることもあり、前年同様予算枠を増やして計画応募状況・事業内容により予算含め変更の可能性あり
- ・2023年3月(2022年度第4回)理事会にて、公募の承認を得る
- ・HPにて公募(3月～5月)
- ・5月開催の理事会での選考・承認
- ・該当団体に助成金の給付

② 外国人留学生への研究助成事業

目的:次世代を担う外国人日本文学及び日本文化研究者の育成に貢献します。

●2023年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、過去数年間計画しておりながら COVID-19 禍等もあり、具体的活動にすることができなかった以下の活動の開始に向け検討を進めていきます。

- ・研究助成のプログラム内容の作成
- ・優秀な外国人留学生の選考及び受入れ先となる団体の選定
- ・理事会への進行状況の報告

(4)公益目的事業に関連する物品販売(収益事業)

当財団の公益事業における「 دونالد・キーン・センター 柏崎」にて、センター専用商品として製作したオリジナルグッズやキーン先生関連の著作本や翻訳本をセンター内にて販売します。

[販売商品]

- ・当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売
- ・当センターの専用ロゴ(キーン先生直筆)を印刷した商品の販売
- ・キーン先生及び関連の著作本・翻訳本の販売

[計画値]

購入者目標人数 300人

(1,500人×20.0%:2022年度(20.8%)・2021年度(17.6%)・2020年度(19.0%)の購入者比率実績より)

事業収入目標額 480,000円

(300人×1,600円:2022年度(1,475円)・2021年度(1,674円)・2020年度(1,691円)の1人当購入金額実績より)

(5) 管理部門の計画

- ① 学芸員募集継続、事務局内人材(学芸員・事務員とも)及び施設管理者・後継者の育成
- ② 安定した財団運営のための事業資金の調達と資産の整備
- ③ 地元主導、地元への貢献体制の確立
- ④ 一般財団法人ドナルド・キーン記念財団他外部関係団体との協力体制強化
- ⑤ COVID-19・防災等への更なる対応・リスク管理徹底 他